

令和6年度 全国学力・学習状況調査 江南市結果

江南市教育委員会

市内の小学校6年生と中学校3年生の全児童生徒を対象に、令和6年4月18日（木）に行われました全国学力・学習状況調査から見られる特徴の中で、代表的なものを紹介します。

江南市教育委員会では、「児童生徒がよりよい生活をするために」、学力との関連を考慮し、生活習慣について見直していきたいと考えています。

【小学校6年生】

全国学力・学習状況調査の結果より、市内小学校10校の全体の状況を示します。

ここでは、調査結果から見られる特徴について、代表的なものを示します。

- ※ ○は、調査結果がよく、今後も伸ばしていきたいこと
- ※ ●は、課題としてとらえ、指導に力を注いでいきたいこと

■ 1 学力の高い児童の生活態度

- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たり、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間が、1時間より少ない。
- 家に、101冊以上の本がある。（雑誌、新聞、教科書は除く）
- 新聞を、週に1～3回程度以上読んでいる。
- 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。

■ 2 質問紙調査の結果〈全国と比べて差がある主なもの〉

- 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用したと回答した児童の割合は非常に高い。
- 英語の勉強が好き、英語の授業の内容はよく分かると回答した児童の割合は非常に高い。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強する（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）と回答した児童の割合は高い。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていると答えた児童の割合は低い。

■ 3 教科に関する調査の結果分析

国語	<p>平均正答率は、全国と同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。 オンラインで交流する場面において、「せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかが分からなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。」という発言を受け、言葉の順序に気を付けて短い文に区切った話し方に変えた理由として適切なものを選択する。○ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。 学校の取り組みを紹介する内容を【メモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして適切なものを選択する。● 文の中における主語と述語との関係を捉えることができる。 【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する。
算数	<p>平均正答率は、全国と同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。○ 速さの意味について理解している。 問題の場面から、家から図書館までの道のりと時間を読み取り、家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く。● 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。 $350 \times 2 = 700$であることを基に、350×16の積の求め方と答えを書く。

【中学校3年生】

全国学力・学習状況調査の結果より、市内中学校5校の全体の状況を示します。
ここでは、調査結果から見られる特徴について、代表的なものを示します。

- ※ ○は、調査結果がよく、今後も伸ばしていきたいこと
- ※ ●は、課題としてとらえ、指導に力を注いでいきたいこと

■ 1 学力の高い生徒の生活態度

- ・ 家に、101冊以上の本がある。(雑誌、新聞、教科書は除く)
- ・ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。
- ・ 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ・ 授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。

■ 2 質問紙調査の結果〈全国と比べて差がある主なもの〉

- 授業で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使ったと回答した生徒の割合は非常に高い。
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、分からないことがあった時に、すぐ調べることができるという回答した生徒の割合は非常に高い。
- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上、PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていると回答した生徒の割合は非常に高い。
- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上勉強する(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)と回答した生徒の割合は高い。
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した生徒の割合は非常に低い。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたい・どちらかといえばしてみたいと回答した生徒の割合は非常に低い。

■ 3 教科に関する調査の結果

国語	<p>平均正答率は、全国と同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 目的に応じて必要な情報に着目して要約することができる。 葉の形を表す言葉を二次元的(平面的)な形容と三次元的な(厚み方向の)形容のグループに分け、それぞれの特徴を示した上で、生物学がどのような学問なのかを述べた文章を読み、本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する。○ 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を具体的に説明する。● 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる。 【資料】についての【話し合いの一部】を読み、話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。
数学	<p>平均正答率は、全国より高い。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができる。 車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ。○ 簡単な場合について、確率を求めることができる。 2枚の10円玉を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める。● 筋道を立てて考え、証明することができる。 点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、$AQ = PB$であることを、三角形の合同を基にして証明する。

お願い

この調査で測定した力は、学力の一部分です。家庭や地域では、子どもの得意なこと、不得意なことを知り、生活に意欲がもてるような励ましをお願いします。